

-2 事業方針

1.目標設定

「魚がのぼりやすい川づくり」の目的は、当該河川における魚の生活史を完結させることであるが、事業に際しては、この目的を具体化した目標設定を行う。

目標設定に際しては、魚の生活を知り、遡上・降下環境を改善する必要性及び意義を明確にする。ただし、河川には滝等の自然に存在する地形条件により、魚の遡上・降下が阻害される場合があるが、このような自然の落差はその河川の本来の姿であることから改善の対象とはしない。



【目標設定】

魚の遡上・分布範囲及び魚が生活史を完結させるために必要とする場（産卵場、成育場等）の分布の現況と変遷を明らかにし、連続性を確保すべき範囲を定める。

魚が生活史を完結するために、生息環境（地形、流況、河床材等）の改善が必要な範囲を定める。

2.課題の抽出（魚の遡上・分布の阻害要因の分析）

事業に際しては、必要に応じて現地調査等を実施し、当該河川における河川環境と魚の遡上・分布範囲や生活史との照合により、課題（魚の遡上・分布を阻害している要因）を抽出してこれを改善すべき点として整理する。